



あまみ



© Amami city

第49号

平成30年6月発行

市議会だより



九州市議会議長会理事会 4月26日



合同着任式 4月13日



議員研修会 2月6日

第1回定例会

平成30年2月19日～3月23日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第1回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～7P

定例会の主な議案・・・・・・・・・・8P～9P

請願・陳情・・・・・・・・・・9P

第1回定例会常任委員会の審査概要10P～11P

お知らせ・・・・・・・・・・12P

第10回議会報告会・・・・・・・・・・13P～15P

議会の動き・・・・・・・・・・16P

第一回定例会 一般質問

3月5日、6日、7日、8日の4日間で16名の議員が市政全般について市当局に問いただきました。要約を紹介します。

(質問順に掲載)

雇用状況と

人材確保対策について

与 勝広 (公明党)



動画視聴



問 本市における雇用状況と人材確保対策について

答 昨年12月の有効求人倍率が1.10倍と過去最高を

更新し、0.28倍まで低迷した平成21年度以降、順調に回復してきた。産業別の求人状況では、慢性的な人手不足が続いている医療福祉分野に加え、観光客の増加や公共事業の伸び等により観光関連サービス業・建設業の求人数が増加する一方、労働力不足が深刻化している。

このことは、本年夏の世界自然遺産登録を目指す本市において、今後増加する観光客の受入れ体制にも影響する大きな課題であると認識している。本市においては、このような課題解決に向け国の働き方改革も注視しながら、ハローワークとの連携強化を図り事業所における処遇改善や地域求職者の人材育成を積極的に支援し、求人側と求職者の

ミスマッチの解消に努めたいと考えている。



奄美市議会 議会登録配信



議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

市民交流センター(仮称)と

日本復帰記念館について

元野景一 (自由民主党)



動画視聴



問 市長の政治姿勢について、市民交流センター(仮称)について

答 親しまれてきた旧名瀬公民館が解体され、代わる施設として平成29年3月「奄美市中心市街地活性化基本計画」の主要事業として、公民館利用者高校生、各種団体23名で組織し、基本構想策定検討委員会を重ね、基本構想・基本計画を策定した。平成30年地質調査を行い、平成31年本格的工事開始平成32年度中の工事完成予定としている。

問 奄美群島日本復帰65周年について、貴重な資料等がいたる場所、また県本土にも復帰当時持ち出されたままになっているが、保存、管理を名瀬小学校石段の復帰運動ゆかりの地に、日本復帰記念館を建設する考えはないか。

答 財源を伴うことであり、群島他町村、奄美群島広域事務組合など協議を重ね検討していきたい。いずれにしても、奄美群島民の共有の貴重な財産であり、次世代に繋ぐ、我々の責務であると考え



この前、小瀬小学校を説明する際に、名前を長時、動議、協同、復集、復集

介護保険事業計画と

と畜場建設の経緯について

かわくち
川口 幸義
(自由民主党)



動画視聴



問 市長の政治姿勢について、第7期介護保険事業計画について

答 奄美市における第7期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画については、全体で5回の策定委員会を開催し、第6期の取組みの評価や現状の課題を抽出し、また、平成30年度から3年間の給付費の推計や高齢者人口の推移などを踏まえ、高齢者が可能な限りの住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることが出来るような取組みの施策や、それに伴う介護保険

料の算定を行ってきた。施策の内容として、地域での支え合い活動の推進や、生きがいづくり、高齢者の孤立化防止や認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを主なものとして取り組むこととなっている。

問 と畜場建設の経緯について

答 これまで庁内の検討会及び奄美大島5市町村で構成する奄美大島と畜場検討委員会を設置し協議を進めてきたが、今後の事業執行を大島地区衛生組合で行う旨の協議が去る1月に整った。

米軍機やオスプレイの

飛行訓練について

みしま
三島 照
(日本共産党)



動画視聴



問 最近の米軍機やオスプレイの無謀な飛行訓練について市長の見解は

答 安全飛行が前提であり、本市としても昨今の米軍機の事故について危惧している。

問 訓練飛行のコース等の調査を国に求めて市民に情報を提供すべきではないか

答 常に情報提供をお願いしているので何らかの情報があれば、市民、議会への情報提供は当然と認識している。

問 奄美海上保安部の体制強化を求めるべきではないか

答 南西諸島の体制強化という視点は大事なことで名瀬港の港湾機能を整理した上で今後、関係機関と情報共有を図りながら可能性を検討したい。

その他の質問事項

- 子育て支援について
- 一人親の実態調査について
- 子どもの貧困の現状について
- 産業振興について
- 小規模企業振興条例について



平成30年度の予算編成と

施政方針について

せき
関 誠之
(社会民主党)



動画視聴



問 平成30年度の予算編成と施政方針について

答 多様な意見・考えに基づき、トップダウンではなくボトムアップによる施策形成に努めてきた。「共に語り、共に考え、共に行動する」という初心に立ち返り、一つ一つ丁寧に課題解決に取り組み、「しあわせの島」の実現に繋げていく。今後も引き続き、経営感覚を持って市政運営に努めていく。

問 奄美看護福祉専門学校の現状と運営状況

答 平成29年度の入学者数

は、4学科140名の定数に対し77名で充足率は55%である。学校の安定的な運営のためにも、平成31年度から調理師養成ビジネス情報学科を廃止して看護、こども・かいご福祉学科の2学科で運営していく。市としても2学科が継続していくよう支援補助金等を継続して支援する。

その他の質問事項

- 名瀬・住用地区学校給食センターの運営
- 奄美市教育奨学資金滞納等の実態について
- 学校現場での集団フック素洗口の問題点



自主防災組織や地域における

消防団活動について

栄 さかえ
ヤスエ（公明党）



動画視聴



問 自主防災組織について

答 組織率が本年2月末現在で55・9%。

問 地域における消防団活動について

答 消防団員は地域防災の中核的存在であり、定数452人、今年2月現在の団員数は404人で、充足率は89・4%となっております。内、女性消防団は31人です。

問 要援護者支援システムについて

答 住民基本台帳と連携可能なことから、迅速な名簿作成、更新が可能と

なり、災害時における要

支援者の把握が簡素化され、いち早い避難行動の声かけなど防災・減災対策の強化、地域の防災マップ作成にも活用できる。

問 配偶者暴力相談支援センター設置について

答 支援センターを設置している自治体の取り組みについて調査した上で検討する。

問 女性の健康について

答 女性が元気で健康でいることは、家庭で地域でまた職場においても健康づくりへ繋がる大きな力になることを認識している。



働き手の人材確保

育成について

竹山 たけやま
耕平 こうへい
（自民新風会）



動画視聴



問 働き手の人材確保・育成について。（資格・免許取得しやすい環境づくり）

答 「奄美市キャリアアップ助成金」の創設を予定している。民間事業者が事業を営むに当たって不可欠な免許・資格取得に対して、島外での取得に要する受験料・旅費・宿泊費の一部を助成する。各種業界や団体から意見を聞きながら、助成制度に反映させていく。

問 スポーツアイランド奄美への取組みとして、隣接する自治体との連携

を

答 名瀬地区の施設は合宿チームの使用で満杯状態となる時期もあり、更なる合宿の拡がりを目指すには、各市町村との連携を深めることが必要。各市町村の特性を活かしながら協議していく。

問 その他の質問事項

○副市長の二人体制について
○大浜海浜公園事業について
○末広・港土地地区画整理事業について



生産牛の振興

多頭経営農家の推進について

奥輝人 おくてるひと
（自由民主党）



動画視聴



問 生産牛の振興。子牛相場の高騰による今後の取り組みについて

答 生産基盤の整備や低コスト生産、研修会や巡回指導による繁殖率の向上を推進していく。

問 多頭経営農家の推進について

答 農家個々の資金を含めた経営状況や農地の保育状況などを把握し、事業導入や増頭時の返済計画借入れ計画に沿った規模拡大を推進する。

問 セリ市名簿における、4代祖表示についての影響について

答 血統が明確になることから、価格への影響による購買者の評価、母牛の更新、優良素牛の導入など計画的な規模拡大や改良に繋がっていくと考えられる。

問 水難事故への対応について。水上オートバイの夜間使用について

答 水上オートバイは、航行上の条件により、夜間航行は禁止されている。



笠利地区への

出店支援制度について

橋口 和仁
(自民新風会)



動画視聴



問 笠利地区への出店支援制度について

答 出店支援制度は、中心市街地に特化した事業で、笠利地区の課題については、公共交通手段の確保・既存店舗の維持確保に向けた経営相談の強化・移動販売・宅配サービスの充実等について、今後検討したい。

問 火災の被災者への対応について

答 奄美中小災害の災者に対する見舞金支給要綱に基づく災害見舞金の支給・住宅への一時入居の案内を行なっている。

問 消火困難地域での消火活動について

答 消防活動困難地域に於いては、出動する車両・火災戦術隊形を確立し、消防署と消防団及び関係団体との合同訓練を行なっている。

問 漂着油の撤去について

答 大島支庁と島内市町村で協議を行ない、海岸からの回収は、市町村で回収後の運搬及び処分は県で行なっている。

問 海岸線の保全対策は

答 国立公園区域及び区域外に於いて、引き続き回収作業の実地や自治体への支援を行ない、野生生物及び生態系への影響に関する調査等を、今後も行なっていく。

観光振興における

世界自然遺産登録の位置づけは

西 公郎
(自民新風会)



動画視聴



問 観光振興における世界自然遺産登録の位置づけは

答 地域固有の自然のみならず、人・食・文化・伝統行事等の観光資源を活用した魅力ある観光地づくりを推進するため、名瀬・住用・笠利地区それぞれの特徴を活かした着地型旅行商品の造成や商品化に向けた事業を進めている。

問 本市、女性消防職員採用について

答 女性消防職員採用については、子供や高齢者災害時の要支援者などの

方々へのサービスの向上組織の活性化などに繋がることや市民の生活と密接に係る消防の仕事には女性消防職員の存在が不可欠だと考えている。

問 新規農産物いちごの可能性について

答 奄美大島での栽培が可能かどうかについては、関係機関と連携し、本市の農業研修センターの施設を活用した実証試験栽培の取組みなどが、必要と考えている。

問 その他の質問事項

- 川内く津名久トンネルの可能性
- 三儀山トンネルの可能性

- シラヒゲウニ種苗生産、放流事業再開に向けた意見交換会の件

奄美市の振興、

奄美群島の自律的發展について

平川 久嘉
(無所属)



動画視聴



問 奄美市の振興、奄美群島の自律的發展について

答 次世代の子供達が故郷に誇りを持てる街づくり、郡都としての魅力を高め求心力を維持できる街づくりを努め、奄美全体が一体的な発展を可能とし自律的發展に繋げていく。

問 堆肥活用を促すための「結いの島」農業モデル事業について

答 近年反収低下により生産量が伸び悩んでいるサトウキビの現状を改善するため、与論町堆肥センターの余剰堆肥を購入し

散布する事業として平成29年度から3年間で計画。本事業の堆肥投入の効果として平均反収10オールあたり55トンを目標としている。

問 奄美市地域防災計画の修正(案)の概要について

答 主な修正の内容は、「避難準備情報」から「避難準備・高齢者等避難開始」「避難指示」から「避難指示(緊急)」などと緊急性を持たせた文言に修正し、いち早い避難行動を促すものとなっている。そのほか指定避難所の新たな追加、各家庭での備蓄品の必要量の修正などがある。

国道58号線おがみ山バイパス事業

の進展について

いとう りゅうじ
伊東 隆吉

(自由民主党)



動画視聴



問 国道58号線おがみ山バイパス事業の進展について

答 今年2月に県知事宛へ「おがみ山バイパス整備促進に関する要望書」を提出。2月27日の県議会の中で県知事が「おがみ山トンネル整備は必要であり、地元理解が得られれば前向きに事業を進めたい」と答弁。本市でも郡都に相応しい総合的なまちづくりに取り組みを引き続き県と連携協力しながら事業促進に努めて参りたい。

問 紬生産反数前年割れ

取り組み課題について

答 平成29年の生産反数は4402反で、依然として前年割れの状況。しかしながら、減少傾向は緩やかになっている。紬業界の課題としては、組合の財務状況改善に加えて後継者育成や業界内の業務の連携、再編が産地再生に向けた大きな課題となっている。

問 次期奄振延長実現に向けた活動計画について

答 奄美群島広域事務組合を中心に成長戦略ビジョンの改訂作業に取り組んでいる。総決起大会は必要に応じて検討する。



国保会計の累積赤字の

解消について

さきた のぶまな
崎田 信正

(日本共産党)



動画視聴



問 国保会計の累積赤字の解消はどうするのか

答 国・県の国保運営方針は「原則として翌年度の解消が望ましいが、概ね5年度以内の計画を策定し、赤字削減に努める」となっている。保険税の収納率向上及び医療費の適正化を進め、赤字解消を図りたい。

問 介護保険料基準額が月額200円増の6600円への見解は

答 保険料の負担感が大きくなることは、大きな課題と十分認識している。適正な介護給付に努め、給付と負担のバランスの

とれた運営に努めたい。

問 自殺対策推進計画の作成プロセスは

答 本市は全国と比較して多く、男性の自殺率が高く、若い世代の割合も高い。推進体制は、庁内の関係部局が幅広く参画し横断的な体制を整え、現状を共有し、地域住民や自殺対策にかかわる医師や弁護士など関係機関の意見を踏まえ策定をすめたい。自殺対策推進センターより自治体ごとに自殺者の年齢や職業、身の回りの環境等のデータが提供されるので実情に沿った計画にしたい。



ふるさと納税制度について

つばた まこと
津畑 誠

(無所属)



動画視聴



問 奄美市ふるさと納税推進事業の実施状況は

答 平成30年2月現在、寄附件数5138件、寄附額4億1453万円、前年度と比較して寄附件数で17倍、寄附額で45倍と大きく伸びた。

問 ふるさと納税を活用した平成29年度の事業は

答 11事業4154万6千円で執行率は約90%。

問 ふるさと納税を活用した平成30年度の事業予定は

答 20事業60386万3千円を計上、主な事業は「教育のIT化整備事業」「子

育て応援情報発信事業」「水上オートバイ購入事業」を予定。

問 ふるさと納税制度を活用した産業振興は

答 今後地元事業者と連携を図り、地場特産品伝統工芸品等を磨き上げ、魅力ある謝礼品を揃えて販路拡大に取り組んでいく。その他の質問事項

○耕作放棄地の推移と今後の再生利用について
○農産物流通販売対策と輸送コスト支援事業について
○末広・港土地区画整理事業について



輸送コスト支援の実現と

フッ化物洗口の安全性と有効性

やすだ せいへい
安田 壮平

(自民新風会)



動画視聴



問 加工品を含めた輸送コスト支援を実現させるには

答 県の奄振総合調査や群島市町村による成長戦略ビジョン改訂版において、その必要性が明確になった。今後は市町村長会や市町村議会議長会が一体となった要望活動等においてその必要性を強く訴えていくべき。行政としては、実現に向けた詳細な制度設計の検討を県や広域事務組合と連携して進めたい。また、民間や議会においてもそれぞれの立場で事業の必要性

の発信をしていただきたい。

問 フッ化物洗口の安全性と有効性についての認識は

答 厚生労働省が平成15年に「フッ化物洗口ガイドライン」を示し、県も平成25年に「歯科口腔保健計画」を示して推奨している。また、日本歯科医師会、鹿児島県歯科医師会、日本口腔保健衛生学会等も有効性と安全性を明示しており、本市が事業を推進する根拠となっている。笠利地区では平成15年から保育園で実施しており、歯の健康への意識向上の結果、虫歯罹患率に有意な結果も出ている。

名瀬新港の整備計画と

ICT環境の設備について

ただ よしかず
多田 義一

(自民新風会)



動画視聴



問 名瀬新港の利用者が今後増えると思われるが整備計画はどうなっているのか

答 名瀬新港の旅客待合所については、完成後40年経過するなど老朽化が進んでいることや、観光客の増加などがみこまれることにより改修の検討を行う必要があると考えている。県ホームページの整備の要望をしていきたい。

問 ICT環境の整備について

答 平成30年度の1学期中に、各小・中学校のすべ

ての普通教室に電子黒板一体型テレビと教師用タブレットを1台配備していく、学力向上に繋がるように授業で効果的に活用していく計画がある。

問 朝日小学校区の学童教室の確保について

答 朝日小学校区には第1・第2ひまわりクラブがあり、第1ひまわりクラブ定員38名に対し41名の児童が、第2ひまわりクラブ定員80名に対し90名の児童が在籍しており、教室が狭く環境上好ましくないことから教室の確保に取り組みたい。



あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成30年第2回定例会は 6月1日開会です

- 一般質問は、6月11日(月)～14日(木)の予定です。(質問者は未定)
- 議会の傍聴は奄美市役所名瀬庁舎6階へお越しください。
- 議会で行われる本会議や一般質問、インターネットの生中継でもご覧いただけます。奄美市ホームページの「奄美市議会」「会議の傍聴」「議会中継」へとお進みください。

第 1 回 定 例 会 の 主 な 議 案

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
議案第1号	平成 29 年度奄美市一般会計補正予算（第7号）について	原案可決	全委員会
議案第2号	平成 29 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）について	原案可決	文教厚生
議案第3号	平成 29 年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	文教厚生
議案第4号	平成 29 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決	文教厚生
議案第5号	平成 29 年度奄美市訪問看護特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	文教厚生
議案第6号	平成 29 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	産業建設
議案第7号	平成 29 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決	産業建設
議案第8号	平成 29 年度奄美市水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決	産業建設
議案第9号	奄美市集会施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 10 号	奄美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 11 号	奄美市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第 12 号	奄美市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第 13 号	大島農業共済事務組合規約の変更について	原案可決	産業建設
議案第 14 号	大島地区衛生組合規約の変更について	原案可決	文教厚生
議案第 15 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第 16 号	平成 30 年度奄美市一般会計予算について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
議案第 17 号	平成 30 年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 18 号	平成 30 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 19 号	平成 30 年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 20 号	平成 30 年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 21 号	平成 30 年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 22 号	平成 30 年度奄美市公共下水道事業特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 23 号	平成 30 年度奄美市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 24 号	平成 30 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 25 号	平成 30 年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 26 号	平成 30 年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 27 号	平成 30 年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 28 号	奄美市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計等審査特別委員会

議案第 29 号	奄美市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
議案第 30 号	奄美市特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
議案第 31 号	奄美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
議案第 32 号	奄美市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
議案第 33 号	奄美市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
議案第 34 号	奄美市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 35 号	奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 36 号	奄美市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 37 号	奄美市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 38 号	奄美市簡易水道事業設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計等審査特別委員会
議案第 39 号	奄美市住用観光交流施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
議案第 40 号	公有水面埋立免許に関する埋立地の用途の変更許可申請に係る意見聴取について	原案可決	一般会計等審査特別委員会
発議第1号	バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第2号	オスプレイの飛行訓練に関する意見書の提出について	原案可決	本会議
議案第 41 号	副市長の選任について	同意	本会議

請 願 ・ 陳 情 の 状 況

受理番号	件 名	提 出 者	結 果	付託委員会
請願第1号	受動喫煙防止の展開について	涉 秀憲	継続審査	文教厚生
陳情第1号	奄美市・名瀬・住用地区大規模給食センター化の市民説明会を求める陳情	奄美の子どもたちの命と健康を守る郡民会議 議長 城村 典文	継続審査	文教厚生
陳情第2号	米軍オスプレイの奄美大島上空・低空飛行訓練廃止の奄美市議会決議を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画
陳情第3号	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	新日本婦人の会奄美支部 支部長 荒田 まゆみ	不採択	総務企画
陳情第4号	沖縄米軍ヘリの連続事故に抗議し、沖縄県民と奄美群島民の生命と財産を守る陳情	自然と文化を守る奄美会議 共同代表 大津 幸夫, 園 博明	不採択	総務企画

第一回定例会 常任委員会 の審査概要

第一回定例会における常任委員会では、2月20日に文教厚生・21日に産業建設、22日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。

常任委員会で審査について紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では議案3件及び陳情3件を審査し議案3件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情3件は全て不採択とすべきものとしました。

一般会計補正予算の主なものとして、始めに繰越明許費について、総額が25億6213万9千円で主なものは本庁舎建設事業費や災害復旧費であると説明。また歳入ではふるさと納税寄付金が想定以上の増加となり2億7千万増額補正し、総額で4億2千万になったとの説明がありました。

質疑では、マイナンバーカードの発行状況について質疑があり、当局から申請率は市が14.9%、

国が13.15%、県が11.93%と回答があり、委員から更に市民へ周知を呼びかけるよう意見がありました。次にふるさと納税の謝礼品の内容についての問いに対し、売れ筋として、1位が旅行券、2位がフルーツ・果物、3位が黒糖焼酎との説明があり、大島純類は7位とのこと。委員から

細関係が謝礼品としてもっと数字が伸びるよう仕掛けるべきとの意見がありました。また地方創生推進費の中心市街地店舗リフォーム補助金の減額について、現在の空き店舗率とその推移について質疑があり、当局から15%程度だったのが現在は12.13%程度の推移で低下傾向にあり営業店舗数も順調に増えており、多種多様な店舗の集積促進に取り組むとのこと。消防費について、機能別水上オートバイ小隊の出動件数に限り質疑があり、当局から昨年7月に発足したのち、2回出動とのこと。1件が用安海岸での捜索活動で、もう1件が用海岸で起きたサーファー3名が沖に流された水難事故への出動があったとのこと。また、消防団員数が減少しているのではとの質疑に対し、現在は404名の団員が在籍し条例定数では89.4%であると

のことでした。奄美市集会施設条例の一部を改正する条例の制定については、朝日町集会所の年度内完成に伴う所要の規定整備を行うとの説明がありました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案7件及び請願1件、陳情1件を審査し、議案7件を原案のとおり可決すべきものと決し、請願1件、陳情1件を継続審査としました。

一般会計補正予算の主なものとして、児童手当扶助費2800万円減、保育士賃金3550万円減、生活保護生活扶助費8千万円減、八幡上報償金1160万円減、大島北高等学校生徒通学費等補助金210万円減、小学校費コンピュータ使用料974万4千円減、指定文化財保存修理等補助金100万円増を計上した等の説明がありました。

保育士賃金について質疑があり、赤木名・節田保育所で雇用に至らなかつた5名分を減額するとの説明でした。生活保護生活扶助費について質疑があり、改正年金機能強化法により新たな年金受給者が増えたため、生活扶助費が減少したとの説明でし

た。指定文化財保存修理等補助金について質疑があり、笠利町宇宿にある泉家住宅のトタン屋根の張り替え修繕を行う費用に對して補助するとの説明でした。小学校コンピュータ使用料減額について質疑があり、名瀬・住用地区9校のデスクトップ型パソコンがリース切れになったためとの説明でした。

国民健康保険事業特別会計補正予算の主なものとして出産育児一時金840万円減、高額医療費拠出金3984万3千円減、保険財政共同安定化事業拠出金1億253万7千円減を計上した等の説明がありました。

介護保険事業特別会計補正予算の主なものとして居宅介護サービス給付費4400万円減、施設介護サービス給付費2千万円増、高齢者元気度アップポイント業務委託料100万円減を計上した等の説明がありました。

高齢者元気度アップ・ポイント事業について質疑があり、登録者数が2288名、千円単位で商品券と交換できるが、千円に満たない場合は翌年度に繰り越して交換できるとの説明でした。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案7件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、当局から、奄美農業創出緊急支援事業費について、研修用・営農用ハウスの整備に係る経費であること、観光施設整備費について、あやまる岬観光公園の遊具等を整備するための経費であること、末広・港土地区画整理事業費について、事業期間を33年度までに変更したことによる減額などの説明がありました。

平成29年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算の主なものとして、当局から、繰越明許費についての説明がありました。

平成29年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算の主なものとして、当局から、工事費で計上した費用を委託業務に変更したとの説明がありました。

平成29年度奄美市水道事業会計補正予算の主なものとして、当局から、資本的収入において水道事業債、簡易水道事業債をそれぞれ増額、支出についても西部地区簡易水道再編推進事業等に

よる増額との説明がありました。

奄美市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について、当局から、収入申告が困難な方々に対し、収入申告の提出がなくても、対等の家賃を定めることができるようになるものとの説明がありました。

奄美市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について、当局から、都市公園法施行令の改正に伴い、条例の諸整備を行ったものとの説明がありました。

大島農業共済事務組合規約の変更について、当局から、農業経営収入保険事業について、全国農業共済組合連合会からの業務の委託を受けるため、規約を変更するものとの説明がありました。

第一回定例会 特別委員会 審査概要

3月12日、14日、15日の日程で審査をいたし最終本会議に報告採決の結果、可決となりました。審査の一部をご紹介します。

【一般会計予算等審査】

一般会計予算等審査特別委員会では、3日間の日程で議案9件を

審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成30年度一般会計予算は、本庁舎建設が大詰めを迎えることもあり、338億2009万1千円と過去最大の予算規模となりました。歳入としては、自主財源が68億1987万2千円で比率が20.2%、対前年度比16%増、依存財源が270億2199千円で対前年度比4.4%増となりました。歳出としては、義務的経費が178億9760万6千円で対前年度比0.7%増、投資的経費が70億9994万9千円で対前年度比40%増、その他経費が8億2247万6千円となりました。

歳出予算の主なものとして、子ども医療費助成事業において、助成対象を中学生までに拡大、子育て・保健・福祉複合施設建設事業、母子歯科保健強化事業、農林水産物輸送コスト支援事業、中心市街地活性化対策事業、バス購入事業、本場奄美大島細再生支援事業、観光受入対策事業、航空・航路運賃軽減事業、光ファイバードバンド整備事業、橋梁補修事業、公営住宅整備事業、排水機場整備事業、名瀬・住用給食センター整備事業、公立学校等施設整備事業、博物館リニューアル

事業、市民交流センター整備事業、本庁舎建設事業などがありました。

ふるさと納税を活用した事業として、教育のIT化整備事業、たい肥生産力活性化事業、消防防災施設整備事業などがあり、今年度に登録が期待される世界自然遺産関係の事業として、機運醸成のための啓発活動に係る事業、ノネコ対策をはじめとする環境保全に係る事業、観光受入に係る事業などがありました。委員より予算に関する幅広い質疑があり活発な議論がなされました。

【特別会計予算等審査】

特別会計予算等審査特別委員会では、2日間の日程で16件の特別会計予算等議案について審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

ふるさと創生人材育成資金特別会計予算では、教育奨学生の内訳についての質疑があり、継続のうち高校生が3名、大学生が27名、新規のうち高校生が4名、専門学校生を含む大学生が24名の見込みとのこと。起業奨学生については、これまでの実績では10名に貸し付けているが実際に起

業をした実績はなく、今後は奄美創業塾と連携していくと説明がありました。

公共下水道事業特別会計予算では、地方公営企業法適用移行支援業務の委託内容についての質疑があり、公共下水道・特定環境下水道・農業集落排水下水道について一括で行う事としており、バランスシート作成のための固定資産の評価、会計制度が変わる事による電算システムの変更、条例改正や関係金融機関との調整などのサポートの3点がメインであり、平成32年4月に公営企業に移行する予定であり、進捗率は全体で約50%との説明がありました。

市町村が行ってきた国保事業が単位数となり、総額で20億円の減額、また国保保険税も減額になるとの説明がありました。委員から法定外繰入や累積赤字の解消をどのように考えているかとの質疑に、今回の税率改正も併せ、新年度からは赤字を増やさず、30年度決算時を基準として県が示す5年以内で過去の赤字について額を見定めて法定外繰入で解消することを検討していくとの説明がありました。

奄美市水道事業会計予算では、低所得者向け福祉減免制度の創設及び従量料金の細分化検討について質疑があり、当局からは福祉減免制度を創設した場合、通常の建設的投資と減免制度が持続的に運営できるかどうか、31年度のアセットマネジメント(資産を効率よく管理・運営する事)の中でシミュレーションを行い、制度設計を検討すべきとの説明がありました。

介護保険事業特別会計予算では、第7期介護保険事業計画において保険料が6600円に増額したことや全国基準の9段階から更に多段階への検討について質疑があり、元々福祉サービスが充実していたため制度改正により、運営上高い保険料になっている。また、第一段階において低所得者の割合が45%近くあり、多段階化はそれ以外の方にしわ寄せが行きすぎたため負担感があ

りました。

国民健康保険事業特別会計予算では、平成30年度からこれまで



議 会 録 画 配 信 を 視 聴 し ま せ ん か？

奄美市議会では、市民の方々に對し議会の内容を知ってもらうため、定例会の録画配信をYouTube(ユーチューブ)にて行っております。本会議や一般質問の様子が動画にて視聴できますので、是非ご覧ください。

●奄美市ホームページから視聴する場合

(<http://www.city.amami.lg.jp>)

ホーム>市政情報>奄美市議会>議会録画配信

●YouTube(ユーチューブ)から直接視聴する場合

(<https://www.youtube.com>)

ホーム画面の検索窓にて「奄美市議会」と入力



産 業 建 設 委 員 会 が 所 管 事 務 調 査 を 行 い ま し た

産業建設委員会(委員長:橋口 和仁)が平成30年3月9日に現地視察を行いました。

住用川の排水機場整備事業、平田浄水場更新事業、自衛隊駐屯地水道整備事業について、各現場を訪れ、事業の概要について各担当者からの説明を受けた後、現場を視察し、各事業における進捗状況などの確認を行いました。



【平田浄水場更新事業】



【自衛隊駐屯地水道整備事業】



【住用川排水機場整備事業】

第10回議会報告会を開催

地域の課題などについて意見交換

奄美市議会では、開かれた議会をめざして市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。いただきましたご意見は、今後の議会報告会のあり方や議会運営の参考とさせていただきます。

第10回議会報告会を11月10日(金)に開催しました。

名瀬地区 17人 (男11人 女6人)

A i A i ひろば

名瀬地区 14人 (男10人 女4人)

小宿地区集会場

住用地区 9人 (男9人 女0人)

住用町高齢者コミュニティセンター

笠利地区 39人 (男35人 女4人)

大笠利文化センター

【名瀬会場】

(A i A i ひろば)



【名瀬会場】

(小宿地区集会場)



【住用会場】

(住用町高齢者コミュニティセンター)



【笠利会場】

(大笠利文化センター)



今回、市民の皆様からいただいたご質問やご意見について、行政当局から回答があった部を（紹介）します。

問 佐大熊の貨物ターミナル沿線のスクラップ置き場の景観を考えて欲しい。

答 鉄くず等の有価物が積み残されている現状ではありますが、企業側としては、景観及び粉じん予防策として、住宅側にフェンスを設置している状況にあります。ご指摘は、一部フェンスがなされていない沿岸部分に関係するものと考えますが、有価物に対する廃棄物処理法等による指導等は行えない状況にあり、これまでの企業努力という部分におおむねご相談できないかと考えております。

問 公共施設や図書館、公民館などにWi-Fiなどの情報設備を急いで欲しい。

答 光ブロードバンド整備については、今年度中に市内全

域の整備が完了する見込みとなっており、地域情報化の基盤整備が進んでいるものと理解しております。

Wi-Fi（公衆無線LANスポット）整備につきましては、島外への情報発信効果に期待して主要観光施設を中心に整備を進めておりますが、整備と維持には相当の経費を伴いますので、必要性及び緊急性を検討しながら進めたいと考えております。

問 第3日曜日は市民清掃の日となっていますが、各地域の参加状況は、どうなっていますか。

答 平成29年度の活動結果については、名瀬地区65地区（自治会・町内会等）中8箇所を除く57箇所において、取り組まれております。笠利・住用地区においては、市民清掃日ではなく美化活動が独自に行われております。名瀬地区の参加人数については、地区全体で月平均864人、実施箇所平均15名の参加となっております。

ります。今後も状況を把握しながら啓発活動等を行い、さらなる市民協働による環境美化活動を行ってまいります。

問 行政協力員の業務への取り組み状況及び謝金2万5千円の根拠を教えてください。

答 行政協力員の報酬額については、自主防災組織の有無で異なっております。（有2万8千円・無1万5600円）根拠としては、奄美市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例で定められた報酬額3900円を基本額とし、業務の活動回数を乗じて算定した報酬額であります。なお、活動業務は、①行政事務に関する連絡、伝達、周知及び普及に関すること②防災組織の確立、訓練に関すること③災害時の広報、調査及び報告に関すること④その他市長が特に必要と認めることとなっております。取組状況について活動報告書を年2回提出いただき確認させて頂いております。

問 東城地区のグラウンドに夜間照明がない。以前から要望しているが実現していない。どのような状況ですか。

答 現在、住用地区では市が管理する任用グラウンドにおいて夜間照明を設置し、市関連の体育行事はじめナイターソフトボール大会等広く活用いただいております。以前より東城校区においても夜間照明の設置との要望ではありますが、東城中学校グラウンドへの夜間照明の設置につきましては、学校管理ともなっております。夜間照明については学校施設開放の観点やナイター照明を設置する必要性を支所内及び学校側とも協議の上、検討して参りたいと考えております。



その他、会場で出されたご質問やご意見及びアンケート結果については、奄美市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

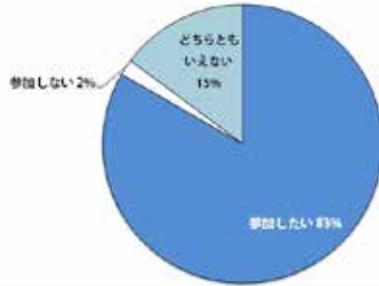
議会報告会当日のアンケートから

参加者数79人
アンケート回収数61人

(あなたの年齢は)

無回答:	4人
20代:	0人
30代:	6人
40代:	1人
50代:	13人
60代:	23人
70代以上:	14人

(次回も参加したいですか)



参加者からの意見や感想

【議会報告会の参加者を増やすには】

- 土・日の開催にしたら参加者が増えると思います。
- 各支所の会議室での開催がよいと思います。
- 議員一人が20名くらい連れてくる。

○議員の方から市民のアピール、日頃の活動のこと細かく知らせるよう。

○防災行政無線での積極的な広報をして下さい。

【奄美市議会の議員定数(24人)についてご意見をお聞かせ下さい】

○県内の他の市町村と比べると、人口比率からして奄美市は議員が多いので、定数を減らして他の市町村と同じくらいにした方がよいと思う。

○議員定数は、削減していただきたい。全国比較ではなく、奄美市として十分な人数、最

低限の人数を検討して欲しい。

○今の24人でいいと思う。減少すると地域の声が届かなくなる。

○議員定数は変える必要はないと思います。議員が少なくなる事によって、色々な意見が出なくなり一方的な方向に向かうのでは?と思うからです。

○もっと市民と対話するなら増やすのも案としてあります。

【議会に対して望みたい】

○SNSの発信を、自分ができないなら、身内や近くにいる人に手伝ってもらえばいいと思います。

○常に議会活動を報告したり、日頃の議員活動を発信すべき。

○市民の方を向いて仕事をしてもらいたい。どんな小さな意見にも耳を傾け、連動性のある行動を望む。

○奄美市がもっと魅力あるも

のにしていけば議会報告会にも人が集まるでしょうし、地元住民がもっと意識を高くして、いかねばならないと思います。市の考えをもっと住民・市民に説明し、意見を吸い上げていただきたい。

○市や地域活動に対して、積極的に参加すべき。

○執行部に反問権を行使してもらいたい。

○自分のためだけでなく、市民のためによして下さい。

○もっと建設的な質問してほしい。市運営が名瀬を中心に動いているので、笠利、住用地区の事業をもっと増やして欲しい。

○議会活動お疲れ様です。市民の代表として、市民の皆様方と寄り添う政治活動を望んでおります。各地域や集落では、色々な問題に少しでも耳を傾けていただきたいと思えます。議員の皆様方の益々の活躍をお祈り申し上げます。

次回の議会報告会は6月2日(土)です。

(場所) 名瀬: AiAiひろば・小湊地区集会場
笠利: 節田生活館
住用: 市集会場
(時間) 午後 7:00 から

皆様から貴重なご意見やご要望をいただきまして、今後の議員活動の中で有意義に活用させていただきます。議会報告会へ参加いただきましたありがとうございます。
奄美市議会

議 会 の 動 き

- 平成30年 2月
- 4日 第10回奄美観光桜マラソン
 - 6日 奄美大島商工会議所との意見交換会
「燃ゆる感動かごしま国体」奄美市実行委員会設立総会
市議会活性化講演会（講師：元県議会議員 二牟礼 正博氏）
議会活性化検討委員会
 - 8日 議会だより編集委員会
 - 11日 「第38回奄美市美術展覧会」開会式及び表彰式
 - 14日 奄美市議会議員研修会
（講師：鹿児島県企画部離島振興課 課長補佐 堂園 和吉氏）
議会運営委員会
 - 18日 平成29年度 奄美市笠利生涯学習講座閉講式・発表会
 - 19日 第1回定例会開会・全員協議会
 - 20日 常任委員会（文教厚生）
 - 21日 常任委員会（産業建設）
 - 22日 常任委員会（総務企画）
 - 23日 本会議・一般質問通告
議員定数等調査特別委員会
 - 27日 市町村議会議長会（大島郡）
 - 28日 議会活性化検討委員会
 - 3月 4日 平成29年度 奄美市名瀬・住用地区生涯講座閉講式・発表会
 - 5日 一般質問 与議員、元野議員、川口議員、三島議員
 - 6日 一般質問 関議員、栄議員、竹山議員、奥議員
 - 7日 一般質問 橋口（和）議員、西議員、平川議員、伊東議員
 - 8日 一般質問 崎田議員、津畑議員、安田議員、多田議員
議員定数等調査特別委員会
 - 9日 本会議
 - 12日・14日・15日 予算等審査特別委員会（一般会計は3日間、特別会計は2日間）
 - 23日 最終本会議・全員協議会・議会活性化検討委員会
 - 4月 2日 奄美市合同入社式
 - 12日 議会議長・事務局長合同会（大島郡）
 - 20日 鹿児島県市議会議長会定期総会（霧島市）
 - 21日 第101回関西奄美会総会並びに芸能大会（尼崎市）
 - 26日 平成30年度県政説明会
第93回九州市議会議長会定期総会（佐賀市）

編集あとがき

昨年の3月、関西LCCが就航となり、早一年。行きたい島ランキングでも上位にランクインするほど、奄美群島はメジャーになりつつあります。何百種の固有種が生息する山々。碧い海と手つかずの自然がたくさん残っている奄美群島ですが、今や、観光地といわれる場所では若い世代の人や家族連れの方、関東、関西、海外からの観光客など沢山の方がこの奄美を訪れています。奄美を訪れた人に奄美大島の魅力を聞いた時、「奄美はあまり観光地化されてなくて、子ども連れでも歩きやすい。島の人たちが優しい。」ということ。結の精神と奄美ではよく言われますが、普段何げなく実践していることが、観光客にとつての癒しになっているのでは。どこにもないオンリーワンのおもてなし。それは島の人が島を訪れた人を大事に家族と同じように接する事なのではないでしょうか。NHKの大河ドラマ「西郷どん」もスタートし、奄美には確実に追い風が吹いてきています。これからは市民一人一人が自覚を持ち、リーディングアイランド奄美「他の離島の先駆け、見本となる」を目指していくべきではないでしょうか。

（松山 さおり）

市議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

林山 克巳
松山 さおり
元野 景一
崎田 信正
関 誠之
大迫 勝史
津畑 誠